

上山口小だより

教育目標 かしこく・なかよく・たくましく

平成 28(2016)年 10月 28日

第 8号

葉山町立上山口小学校

編集発行 中根正彦

TEL 046-878-7529

角の出た不思議な形の植物が、玄関に飾られています。
上山口小学校で育てられたコンニャクイモです。一番大きな芋は3年かかっています。11月22日(火)に2年生が講師を呼んで、このコンニャクイモを使って「こんにやく」作りをします。また、11月16日のやきいも大会に向けて、収穫が始まっています。上小にいと収穫物によっても季節の感覚が身につき、子どもたちは幸せです。

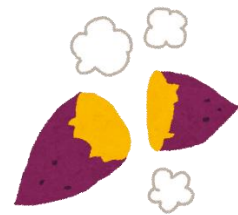


11月の予定

10月31日(月)～11月5日(土) 学校へ行こう週間

※学校へ行こう週間に赤い羽根募金を実施

- 11月 2日(水) 朝会(目標)
- 3日(木) 文化の日
- 5日(土) 土曜参観・上小フェスタ
- 7日(月) 振替休日
- 10日(木) たてわり朝会 6年地層見学
- 11日(金) 5年川崎横浜方面遠足
- 14日(月) PTAふれあい給食会
- 15日(火) クラブ活動 3年社会見学(京急ストア)
- 16日(水) やきいも大会
- 17日(木) 朝会(教頭) 防犯訓練5校時(やきいも大会予備日)
- 22日(火) 委員会活動(4年5校時)
- 23日(水) 勤労感謝の日
- 24日(木) 音楽朝会(2年生発表)
- 25日(金) 安全と命について考える日
- 25日(金)～30日(水) 個人面談期間



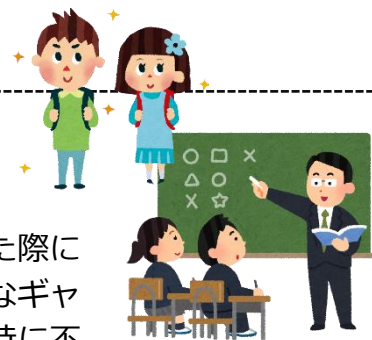
小中連携のために



「中1ギャップ」という言葉があります。

児童が、小学生から中学1年生に進級した際に感じる心理面、学習面、生活面などの様々なギャップと、それによるショックのことです。時に不登校になったり、いじめの増加を招いたりすることもあります。

葉山町では、小中の連携のための講師を招き、小学校と中学校の両方で学習指導に携わっていただき、児童が安心して中学校に行くためのサポートをしていただいています。



今年度も昨年に引き続き、葉山町立中学校に算数の指導に入っていただくこととなりました。葉山中学校おられたので、世話になった保護者も多いのではないのでしょうか。子どもたちにとっても、中学に行ったときに見知った先生がいるということで、安心して中学校生活を送れるのではないのでしょうか。



川の水質検査

5・6年生が、川の水質検査を行いました。自分たちの住む上山口を流れる下山川の上流と中流域の水質を検査しました。検査項目の主なものは、有機物の多少を調べるCOD（化学的酸素要求量）検査、PH（酸・アルカリ）検査、リンの量を調べる検査などで、子どもたちは本格的な調査を体験しました。検査したのは、学校付近の川と、学校の奥の田んぼがある上流域です。



また、同時に講師の先生を招いて、指標生物による川の水質調査もしました。指標生物とは、水のきれいさを判断する様々な水生昆虫や魚などのことで、そこに住んでいる生き物の種類により、どの程度きれいな水なのかがわかるのです。学校付近の橋から川を200～300mくらい下った場所で指標生物調査を行いました。近隣の方から、昔はアユが遡上してきたというお話を聞きました。

残念ながらアユは見られませんでした。コオニヤンマの幼虫やホウネンエビ、ヨシノボリ、シジミなどが発見されました。

当日指導して下さった横須賀の環境団体の中村先生、メダカの会の今井先生によると、シジミがいる川は葉山付近ではここだけだそうです。



子どもたちの作文には、こんなことが書かれていました。

「とくにいんしょうにのこっているのは、エビです。おくの方の川にいくと草の所にあみをふるとほとんどエビが入っていて、約20匹きとれました。まさかここまでとれるとは自分でも思ってなくて、本当にびっくりしました。《略》下山川をのぞく川はぜつめつしてしまっているそうです。下山川は、ぜつめつしてなくて、下山川をよりキレイにして、かんきょうをよくするために、自分でいしきしながら生活をしていきたいです。」

「上山口にいる川の生き物をたくさん見つけました。中にはこの川にしかないシジミを見つけているはんもいました。キレイな川にしかない小さな魚やミズミみたいな、生きものもいました。ヤ



平たいのが特徴。
コオニヤンマの幼虫。

愛嬌のある顔。
ハゼ科の魚
「ヨシノボリ」



ゴは、私たちも見つけたけれど、とっとも大きなヤゴをつかまえているはんもありました。《略》場所によっている生き物がちがくて（ちがって）、ほんの少しのはんいの中にもキレイなところまたは、少しきたないところがあるようです。私がきょう見たところ、流れがあるところには、生き物が少ない気がしました。」

川の生き物に触れ、下山川は「自分たちの川」という意識が生まれることで、川をきれいにしたいと思う気持ちが育ってくれば、こんなに嬉しいことはありません。



6年生の日光修学旅行

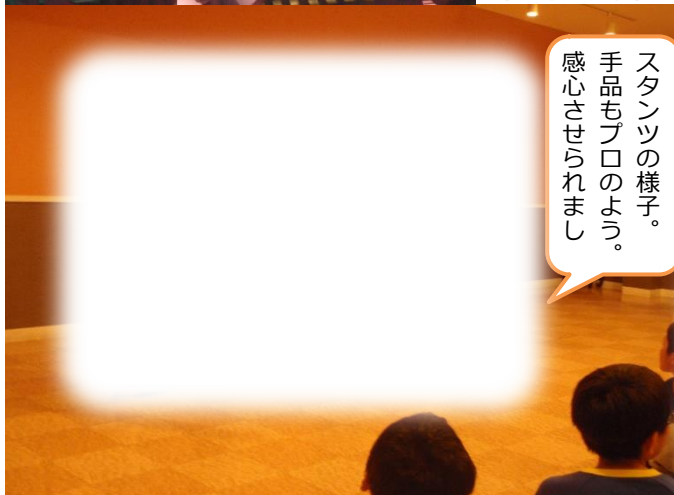
心配された台風一過、晴れ渡る空と雨であふれるほどの水量となった日光は、最高の景色を見せてく

れました。華厳の滝もいろいろと見ておりますが、虹がかかり、近年稀に見る絶景でした。



大改修工事で陽明門など十分に見ることができない所も少なくありませんでしたが、代わりに特別展示がいろいろとありました。徳川家康の位牌などは、初めて披露されたもので、今まで見ることでできなかったものを見ることができて、今年の6年生はととてもラッキーでした。

また、感心させられたのは夜のスタンプです。どのグループも趣向を凝らした出し物で、皆の歓声や笑いをさそっていました。芸達者な6年生に驚かされました。披露する側も見る側も、とても温かく包み込む様な雰囲気、いい6年生だなと思いました。



スタンプの様子。
手品もプロのよう。
感心させられました



校舎裏の草刈り

校舎裏花壇付近を、

()さんとそのご家族、()さん、()さん方が草刈りをしてくださり、校舎裏が大変明るくなりました。

皆さん、上山口小学校の卒業生で、

「母校のためなら卒業生の私たちは、こうしていつでも来て力を惜しみません。」

というありがたいお言葉をいただきました。地域の皆さんに守られて来た上山口小学校ならではのことだと思っています。皆さん、学校の駐車場を見ながら、昔の校舎のこと、恩師の先生が話した事、いまだにはっきりと記憶していらっしゃるのに驚きました。

本当にありがとうございました。



P T Aによる育樹支援活動

上山口小学校の児童が、毎年国際村の山で行っている植樹。今年も12月に6年生による植樹が予定されています。

しかし、植樹して数か月经つと周囲は草で覆われて、木々が順調に育ちません。そこで、過日保護者の皆さんに呼びかけ、「育樹」のための「下草払い」をしていただきました。予備日の土曜日ではなく、平日実施となったため、ご参加いただけなかった方も多かったと思います。草刈りをしてくださった方々、申し込んでくださった方々、本当にありがとうございました。



6年前に植樹をした子どもたちの栗の木は、すでに見事な実がついていました。この木が大きくなって、さらにたくさんの実をつけるのはいつのことなのでしょう。その時は、この山はどのように変化しているのでしょうか。十年後、数十年後のこの山の様子を想像し、それに子どもたちの成長を重ねて想像するだけで、何やらとても壮大な計画の様な気がいたします。子どもたちと、木々の順調な成長を願わずにはいられません。

